

令和3年度 東海大学望星技術士会第7回役員会 議事録 (HP版)

1 日時：令和3年10月23日(土) 14:00～16:20

2 場所：ZOOMによるリモート会議

3 リモート出席：(常)笠原勉、(常)綿貫啓、(常)庄司大介、(常)永井和典、(常)平野滋、(常)今村均、(常)久一博世、
太田芳雄、吉田倫夫、(常)齋藤寛(記録) (常任幹事10名中8名出席、幹事2名出席)

委任：(常)桜井裕一、星崎紀一、畑恭子、竹内聖一、神藤典一

4 打ち合わせ内容

① 名簿の作成、配信について

- ・公開用名簿は近況活動報告のメールに添えて大学窓口より10月10日に配信済み。5人の追加掲載申し出あり。
- ・教職員名簿に新たに2名の先生の掲載同意を得た。教職員は技術士資格を保有しなくても本会活動に賛同いただける教職員は登録できる旨を他学科の先生含め説明する必要がある。土木・建築以外の学科への拡大を図る。

② 学生へのリモート講義等準備状況について

- ・土木工学科は、10月7日に先生と打合せし、具体的内容、予定を確認。学生の質問を促す問いかけの準備。講師の参考のためのリモート聴講について確認。コロナ収束状況で対面授業を交えたハイブリッド開催の可能性を確認する。
- ・建築学科は、担当役員による調整状況、内容を確認(1月19日1限目、リモートと対面授業のハイブリッドで実施)。建築学科の資格では、一級建築士が一番でその次に技術士資格を紹介する流れ。
- ・清水キャンパスは、11月の就職説明会の枠の調整がつかず、今年度の本会の講演などは実施見合わせとした。今年度の湘南・札幌の実績を活かして、来年度以降授業として参画できるように準備する。
- ・札幌キャンパスは担当の先生との調整が整い、開催内容を確認。現地の会員数名の参加が可能で、学生の質疑応答に対応。懇親会は中止となった(5人以上の会食禁止)。今後のために開催記録をまとめる。

③ リモート講演会開催計画について

- ・2月の土曜日開催、事務局拠点は日本水産技術者協会会議室を想定。今回の講師と12月頃に事前打合せを予定。
- ・今後の講師を会員から募集しリスト化。建設部門以外の会員も聞けるテーマ(防災、環境、省エネなど)を検討。会員イベント運営委員会で詳細を決める。

④ 委員会の課題と対応について(各委員会の検討体制・状況の確認)

- ・「総会・役員会運営委員会」：役員人事、役職等在任期間の確認。常任幹事の任期検討と幹事の体制拡大について時間をかけた議論が必要。計画的な人事管理案は副会長、事務局、会計を含め別途検討する。新幹事候補について検討する。
- ・「大学イベント運営委員会」：各キャンパスのリモート講義準備状況の確認。Web開催ホームカミングデーでは本会のPR不可と確認(今回コロナ禍でWeb開催YouTube配信となり同窓会関係には参加を募らず実施となった)。
- ・「会員イベント運営委員会」：本年度講演会準備状況確認、講師リスト化、次回総会時講演及び見学会等の検討。
- ・「HP管理委員会」：HP管理の人材拡充、掲載情報の拡充(会員の業務紹介など)が課題。
- ・「会報編集委員会」：リーダー交代、次回の会報構成、掲載レポート等の査読支援者確保について委員会で検討。
- ・「会計委員会」：通常会計、寄付の管理を担当。経費支払規定は内規運用で合意。
- ・「名簿管理委員会」：各名簿の作成管理、公開用名簿の更新(半年後)、追加記載申し出への対応。
- ・「情報収集委員会」：技術士制度等関連最新情報の把握。技術士試験受験指導は日本技術士会役員に任せ、本会として問題なく受験指導できる体制整備を会員イベント運営委員会中心に検討する。

⑤ その他

- ・総会開催報告をHPに掲載した。Web表決を役員会以外の意見調整の場、緊急動議の効力を発揮できるように注視し、積極的に活用することが必要。
- ・東海大学新聞の掲載はWeb版とのことだが、イベント毎のニュースリリースの発行などの情報提供を続ける。
- ・本会運営に関する課題は、今後優先順位をつけて議題としていく。議論の時間を別途確保することも検討。

5 次回役員会 令和3年11月27日(土) 14:00～ Zoomによるリモート開催とする。